© 2020 Roland Corporation

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシ）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

はじめに

※ TR-06 は電池または USB バス電源で動作します。電池で使用するときは、電池の向きに注意して、単 3 電池を 4 本入れてください。
※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」「使用上のご注意」（「安全上のご注意」チラシ）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
※ 電池が消耗すると画面に「Bt.Lo」と表示されます。新しい電池と交換してください。
※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オート・オフ機能）。
自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください。
電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

Boutique Dock DK-01（付属品）と組み合わせて使う

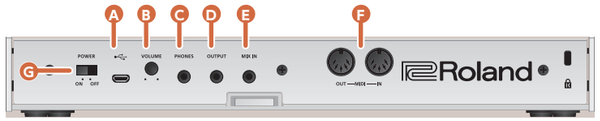
➡ 取り付け／取り外し／角度の調節については、DK-01 の取扱説明書をご覧ください。
※ 角度調節や取り付けなど、サウンド・モジュールを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。

MIDI や USB で鳴らす

TR-06 は、MIDI や USB で演奏することもできます。詳しくは「機器の接続」をご覧ください。

機器の接続

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



A Micro USB（⇔）端子
市販の USB2.0 ケーブル（A-microB タイプ）でパソコンに接続します。USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりすることができます。パソコンに接続するにはUSBドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは、ローランドのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

➡ **https://www.roland.com/jp/support/**
※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

B [VOLUME] つまみ
音量を調節します。

C PHONES 端子（ステレオ・ミニ）
ヘッドホン（別売）を接続します。

D OUTPUT 端子（ステレオ・ミニ）
アンプやモニター・スピーカーに接続します。

E MIX IN 端子（ステレオ・ミニ）
オーディオ入力端子です。接続した機器の音が、OUTPUT 端子と PHONES 端子から出力されます。TR-06 内蔵のエフェクトをかけることもできます。

F MIDI 端子
市販の MIDI ケーブルで MIDI 機器を接続すると、TR-06 と MIDI 機器を同期演奏できます。

電源を入れる／切る

G [POWER] スイッチ
電源をオン／オフします。
※ 正しく接続したら、必ず本機→接続した機器の順に電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。電源を切るときは、接続した機器→本機の順に電源を切ってください。
※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

データ・バックアップ／リストア

バックアップ

1. TR-06 とパソコンを USB ケーブルで接続します。
2. [RUN/STOP] ボタンを押しながら電源を入れます。
ドライブの準備に 1 分程度かかります。準備の進み具合は、ステップ［1］～［16］インジケーターで確認することができます。
3. パソコンで「TR-06」ドライブを開きます。
「TR-06」ドライブの「BACKUP」フォルダー内にバックアップ・ファイルがあります。
4. バックアップ・ファイルをパソコンへコピーします。
「BACKUP」フォルダーの中のすべてのファイルをコピーします。
5. コピーが完了したら、パソコン上で USB ドライブの取り出しをします。

Windows 10/8/7
「TR-06」アイコンを右クリックして「取り出し」を実行します。

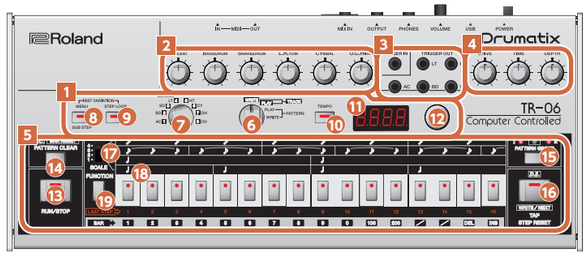
Mac OS
「TR-06」アイコンをドックにあるゴミ箱アイコンにドラッグします。

6. 電源をオフにします。

リストア

1. 「バックアップ」の 1 ～ 3 の手順で、パソコンで「TR-06」ドライブを開きます。
2. 「TR-06」ドライブの「RESTORE」フォルダー内にバックアップ・ファイルをコピーします。
3. コピーが完了したら、パソコン上で USB ドライブの取り出しをして、［TAP］ボタンを押します。
4. LED の点滅が完全に終わってから、電源をオフにします。

各部の名称とはたらき

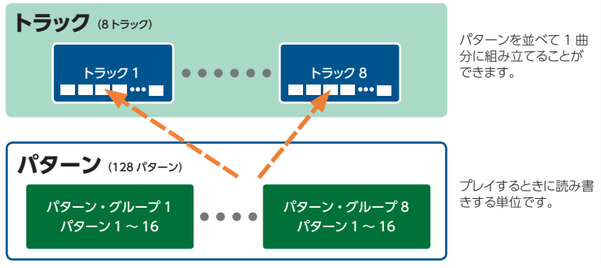


1 MODE ／ディスプレイ・セクション

操作子	説明
6 [MODE] つまみ	動作モードを切り替えます。 **TRACK WRITE（トラック・ライト）** トラック（曲）の編集をするモードです。 **TRACK PLAY（トラック・プレイ）** トラック（曲）を再生するモードです。 **PATTERN PLAY（パターン・プレイ）** パターンを再生するモードです。 **PATTERN WRITE（パターン・ライト）** パターンの編集をするモードです。
7 [INSTRUMENT] つまみ	インストの切り替えや、再生／編集するトラックを切り替えます。 AC（ACCENT）、BD（BASS DRUM）、SD（SNARE DRUM）、LT（LOW TOM）、HT（HI TOM）、CY（CYMBAL）、OH（OPEN HIHAT）、CH（CLOSED HIHAT）
8 [MENU]（SUB STEP）ボタン	メニューを表示したり、ステップ・ボタン［1］～［16］と組み合わせて、サブステップを入力したりします
9 [STEP LOOP] ボタン	ステップ・ループ・モードに切り替えます。 ステップ・ループ・モードでは、ステップ・ボタン［1］～［16］を押している間、指定したステップを繰り返し再生します。
10 [TEMPO] ボタン	テンポを設定します。
11 ディスプレイ	テンポの値や、さまざまな情報を表示します。
12 [VALUE] つまみ	ディスプレイに表示された値を編集します。

パターンとトラックとは？

記録した演奏情報を「パターン」と呼びます。
TR-06 には 128 個の「パターン」と、パターンを並べた 8 個の「トラック」があります。



2 INST エディット・セクション

操作子	説明
インストつまみ	各インストの音量を調節します。
[ACCENT] つまみ	アクセントの強さを調節します。

3 TRIGGER セクション

操作子	説明
TRIGGER IN 端子	TRIGGER OUT 端子を備えた機器（TR-08 など）を、ミニ・プラグ（モノ）のケーブルで接続します。 この端子にプラグを差し込むと、TR-06 は内部クロックから切り離され、トリガー・パルスを端子から受信するタイミングで、ステップが進むようになります。 その他にもこの端子からの入力で、ランダム機能やノート・シフト機能を実行することができます。実行する内容はメニューで設定します。
TRIGGER OUT 端子	各インストの発音タイミングでトリガーを出力します。
TRIGGER OUT [AC] 端子	ACC のタイミングや、パターンの始めや終わりにトリガーを出力します。 トリガーを出力するタイミングは、メニューで設定します。

※ TRIGGER セクションの各端子は「ミニ・プラグ（モノ）」のケーブルで接続してください。「ステレオ・ミニ・プラグ」のケーブルは使用しないでください。正しく動作しません。

4 エフェクト・セクション

操作子	説明
[DRIVE] つまみ	オーバードライブを調節します。左に回しきるとオフになります。 ドライブのタイプはシステム設定で選べます。 ・［MENU］ボタンと組み合わせると、インストの TUNE を設定できます ・［STEP LOOP］ボタンと組み合わせると、インストの DRIVE のオン／オフを設定できます
[TIME] つまみ	ディレイ・タイムを設定します。 ディレイのタイプは、メニューで変更できます。 ・［MENU］ボタンと組み合わせると、インストの DECAY を設定できます ・［STEP LOOP］ボタンと組み合わせると、ディレイ・エフェクトのテンポシンクのオン／オフを設定できます
[DEPTH] つまみ	ディレイの繰り返し回数を設定します。 ディレイ・エフェクトのタイプは、システム設定で変更できます。 ・［MENU］ボタンと組み合わせると、インストの音色を設定できます。設定するパラメーターは、インストにより異なります。 ・［STEP LOOP］ボタンと組み合わせると、インストのディレイ・エフェクトへのセンド量を設定できます。

5 シーケンサー・セクション

操作子	説明
13 [RUN/STOP] ボタン	パターン／トラックを再生／停止します。
14 [PATTERN CLEAR] ボタン	パターンの消去や、トラックの編集位置を先頭に戻す操作、ダ・カーポの入力に使用します。
15 [PATTERN GROUP] ボタン	再生するパターンの、グループの切り替え、編集する小節の切り替え、セーニョの入力に使用します。
16 [TAP] ボタン	押したタイミングでの、ノートの入力や、再生位置のリセット、メニューの決定、ダル・セーニョなどに使用します。
17 [SCALE] スイッチ	設定するステップの、音の長さを選びます。 **1**：16 分音符　**3**：8 分 3 連符 **2**：32 分音符　**4**：16 分 3 連符
18 ステップ［1］～［16］ボタン	パターンの選択や、ノートの編集に使用します。
19 [FUNCTION] ボタン	PATTERN WRITE MODE で、SCALE の適応や、ステップ［1］～［16］ボタンと組み合わせて LAST STEP を設定します。

音色の切り替え

1. 8 [MENU] ボタンと 9 [STEP LOOP] ボタンを同時に押します。
インスト・セレクト・モードに切り替わります。
2. 18 ステップ［2］～［6］ボタンを押して、音色を変更するインストを選びます。
3. 12 [VALUE] つまみで音色を選びます。

インスト	1	2	3	4	5
BD（ステップ［2］）	TR-606 BD	RICH	FAT		
SD（ステップ［3］）	TR-606 SD	RICH	FAT		
LT（ステップ［4］）	TR-606 LT	Synth Percussion	NOISE TOM	CP	RS
HT（ステップ［5］）	TR-606 HT	Synth Percussion	NOISE TOM	CP	RS
CY（ステップ［6］）	TR-606 CY	GATE CYMBAL	CP	RS	

パターンの再生と書き込み

パターンの再生（PATTERN PLAY モード）

基本操作

1. 6 [MODE] つまみを、「PATTERN PLAY」にします。
2. 15 [PATTERN GROUP] ボタンで、パターン・グループ（I または II）を選びます。
3. 18 ステップ［1］～［16］ボタンで、パターンを選びます。
再生中でも、ステップ［1］～［16］ボタンでパターンを選ぶことができます。

パターン・グループの 3 ～ 8 を選ぶには
1. ［PATTERN GROUP］ボタンを押しながらステップ［3］～［8］ボタンを押して、グループを選びます。
2. ［PATTERN GROUP］ボタンを押したままステップ［1］～［16］ボタンを押して、パターンを選びます。
パターン・グループは 1 ／ 2、3 ／ 4、5 ／ 6、7 ／ 8 が対になっており、［PATTERN GROUP］ボタンを押すたびに、交互にグループが切り替わります。

パターンの連続再生
パターン選択時に、2 つのボタンを同時に押すことで、複数のパターンを選ぶことができます。選んだパターンは、連続再生されます。再生中のパターンは点滅します。

1. 13 [RUN/STOP] ボタンを押して、パターンを再生／停止します。

テンポの変更

パターン・プレイ・モードではディスプレイにテンポが表示されます。

1. 10 [TEMPO] ボタンを押します。
テンポの小数点以下 2 桁を表示します。
2. 12 [VALUE] つまみで、テンポを変更します。

フィル・インを挿入する

1. 再生中に 8 [MENU] ボタンを押しながら、18 ステップ［1］～［16］ボタンを押して、挿入するパターンを選びます。

イントロを挿入する

1. 停止中に 8 [MENU] ボタンを押しながら、18 ステップ［1］～［16］ボタンを押して、挿入するパターンを選びます。

パターンの書き込み（PATTERN WRITE モード）

基本操作

1. 6 [MODE] つまみを、「PATTERN WRITE」にします。
2. 15 [PATTERN GROUP] ボタンで、パターン・グループ（I または II）を選びます。
3. 18 ステップ［1］～［16］ボタンで、パターンを選びます。

パターン・グループの 3 ～ 8 を選ぶには
1. ［PATTERN GROUP］ボタンを押しながらステップ［3］～［8］ボタンを押して、グループを選びます。
2. ［PATTERN GROUP］ボタンを押したままステップ［1］～［16］ボタンを押して、パターンを選びます。
パターン・グループは 1 ／ 2、3 ／ 4、5 ／ 6、7 ／ 8 が対になっており、［PATTERN GROUP］ボタンを押すたびに、交互にグループが切り替わります。

4. 7 [INSTRUMENT] つまみでインストを選びます。
5. 13 [RUN/STOP] ボタンを押してパターンを再生します。
6. 18 ステップ［1］～［16］ボタンで、インストを鳴らすか鳴らさないかを指定します。

[TAP] ボタンでノートを入力する

1. 再生中に 16 [TAP] ボタンを押して、選ばれているインストにノートを入力します。

シャッフル／フラムの設定

1. 10 [TEMPO] ボタンを長押します。
18 ステップ［1］～［7］ボタンにシャッフルの値が、18 ステップ［9］～［16］ボタンにフラムの値が表示されます。
2. 10 [TEMPO] ボタンを押しながら 18 ステップ［1］～［7］ボタンを押して、シャッフルの値を変更します。
［VALUE］つまみでも変更できます。
3. 10 [TEMPO] ボタンを押しながら 18 ステップ［9］～［16］ボタンを押して、フラムの値（間隔）を変更します。

パターンの消去（すべてを消去）

1. 停止中に、18 ステップ［1］～［16］ボタンを押しながら 14 [PATTERN CLEAR] ボタンを押します。

パターンの消去（一部分だけ消去）

1. 再生中に 14 [PATTERN CLEAR] ボタンを押すと、押している間だけ、7 [INSTRUMENT] つまみで選ばれているインストのノートが削除されます。

パターンのコピー

1. コピー先のパターンを選んだ状態で、16 [TAP] ボタンを押したままにします。
2. 16 [TAP] ボタンを押したまま 18 ステップ［1］～［16］ボタンを押して、コピー元のパターンを選びます。
3. 16 [TAP] ボタンを押したまま 13 [RUN/STOP] ボタンを押すと、コピーを実行します。
※ コピー操作中は［TAP］ボタンを押したまま操作してください。［TAP］ボタンを離すと操作がキャンセルされます。

ラスト・ステップの設定

パターンの長さ（ステップ数）を設定します。

1. 再生中に、19 [FUNCTION] ボタンを押しながら、18 ステップ［1］～［16］ボタンを押します。

スケールの設定

1. 17 [SCALE] スイッチで、設定したいスケールを選びます。
2. 再生中に 19 [FUNCTION] ボタンを押します。

ステップを 32 ステップに拡張する

1. 再生中に 19 [FUNCTION] ボタンを押しながら 15 [PATTERN GROUP] ボタンを押します。
ステップが 32 ステップに拡張されます。
再生中に［PATTERN GROUP］ボタンを押すと、書き込むステップ（1 ～ 16 または 17 ～ 32）を切り替えます。

ベロシティーの設定

ベロシティー（音の強弱）を入力します。

1. 再生中に、18 ステップ［1］～［16］ボタンを押しながら 2 [ACCENT] つまみを回します。

プロバビリティーの設定

ノートを再生する確率を設定します。プロバビリティーを設定することで、同じパターンを鳴らし続けていても、パターンにバリエーションをつけることができます。

1. 再生中に、18 ステップ［1］～［16］ボタンを押しながら 12 [VALUE] つまみを回します。

ベロシティーとプロバビリティーの設定を確認する

1. 再生中に、18 ステップ［1］～［16］ボタンを長押しします。
プロバビリティーの設定値が表示されます。
2. 16 [TAP] ボタンを押します。
ベロシティーの設定値が表示されます。

サブ・ステップの設定

より細かなステップにノートを入力することができます。

1. 再生中に、8 [MENU]（SUB STEP）ボタンを押しながら、⑱ステップ［1］～［16］ボタンを押します。
   現在のサブ・ステップの状態が表示されます。
2. 8 [MENU]（SUB STEP）ボタンを押したまま、⑱ステップ［1］～［16］ボタンをもう一度押します。
   サブ・ステップの設定が変更されます。設定は、(OFF、1/2、1/3、1/4、FLAM）を循環して設定されます。

サブステップ・プロバビリティーの設定

サブ・ステップを再生する確率を設定します。

※ 操作中は［MENU］(SUBSTEP）ボタンを押したまま操作してください。

1. 再生中に、8 [MENU]（SUB STEP）ボタンを押しながら、⑱ステップ［1］～［16］ボタンを押します。
   現在のサブ・ステップの状態が表示されます。
2. ⑯ [TAP] ボタンを押します。
   サブ・ステップ・プロバビリティーの状態が表示されます。
3. ⑫ [VALUE] つまみでサブ・ステップ・プロバビリティーを設定します。

パターンのランダム生成機能

1. パターン書き込み／再生中に、8 [MENU] ボタンを押しながら⑯ [TAP] ボタンを押します。
   生成されたパターンは自動で書き込みされません。
2. 8 [MENU] ボタンを押しながら［TAP］ボタンを長押ししてパターンを書き込みます。

パターンのシフト機能

選択中のパターンのインストを右方向（左方向）にシフトします。

選択中のパターンのインストを右方向にシフトする

1. パターン書き込み／再生中に、8 [MENU] ボタンを押しながら⑮ [PATTERN GROUP] ボタンを押します。

選択中のパターンのインストを左方向にシフトする

1. パターン書き込み／再生中に、8 [MENU] ボタンを押しながら⑭ [PATTERN CLEAR] ボタンを押します。

トラックの再生と書き込み

トラックの再生（TRACK PLAY モード）

基本操作

1. 6 [MODE] つまみを、「TRACK PLAY」にします。
2. 7 [INSTRUMENT]（TRACK）つまみで、トラック（1 ～ 8）を選びます。
   ディスプレイに小節番号が表示されます。
   トラック番号が表示されたあと、小節番号が表示されます。
3. ⑭ [PATTERN CLEAR]（BAR RESET）ボタンで、1 小節目に戻します。
4. ⑬ [RUN/STOP] ボタンを押して、トラックを再生／停止します。

トラックの連続再生

トラック再生中、7 [INSTRUMENT]（TRACK）つまみでトラック（1 ～ 8）を選ぶと、最終小節の再生終了後に、次のトラックが連続再生されます。

トラック・モードの機能

以下の機能は、トラック・プレイ／ライトのどちらのモードでも動作します。

小節番号を呼び出す

1. ⑫ [VALUE] つまみを回して、小節番号を設定します。

数字ボタンを使った小節番号の呼び出し

⑲ [FUNCTION] ボタンを押したまま、数字ボタン（1 ～ 9、0、100、200）で、小節番号を設定できます。

小節数	数字ボタンを押す順	表示 *1
131	100 → 3 → 1	点灯：100 3、点滅：1
55	5 → 5	点灯／点滅：5
101	100 → 1	点灯：100、点滅：1

*1［FUNCTION］ボタンを押すと、数字ボタンが点灯／点滅して現在の小節番号を表示します。
- 10、100 の位は点灯し、1 の位は点滅します。
- 55、33 など、同じ数字の場合は、1 拍ごとに点灯／点滅を繰り返します。

テンポの変更

トラック・プレイ／ライト・モードではディスプレイに小節数が表示されますが、［TEMPO］ボタンを押すと、テンポが 3 秒間表示されます。

1. テンポ表示中に⑩ [TEMPO] ボタンを押すと、テンポの小数点 2 桁を表示します。
2. テンポ表示中に、⑫ [VALUE] つまみでテンポを変更します。

シャッフルの設定

➡ **パターン・プレイの「シャッフル／フラムの設定」をご覧ください。**

D.C.（ダ・カーポ／最終小節）の表示

D.C.（ダ・カーポ）とは?

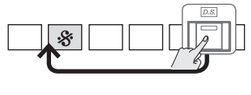
D.C. を設定した小節の最後まで再生したら、トラックの 1 小節目に戻ります。

1. ⑲ [FUNCTION] ボタンを押しながら⑭ [PATTERN CLEAR]（D.C.）ボタンを押します。
   D.C. を設定した小節数が表示されます。

𝄋（セーニョ）の表示

D.S.（ダル・セーニョ）、𝄋（セーニョ）とは?

再生中に［TAP］（D.S.）ボタンを押すと、𝄋（セーニョ）を設定した小節にジャンプします。



1. ⑲ [FUNCTION] ボタンを押しながら⑮ [PATTERN GROUP]（𝄋）ボタンを押します。
   𝄋（セーニョ）を設定した小節数が表示されます。

トラックの書き込み（TRACK WRITE モード）

基本操作

1. 6 [MODE] つまみを、「TRACK WRITE」にします。
2. 7 [INSTRUMENT] つまみで、トラック（1 ～ 8）を選びます。
3. 停止中に⑭ [PATTERN CLEAR]（BAR RESET）ボタンで、1 小節目に戻します。
4. ⑬ [RUN/STOP] ボタンを押します。
   トラック・ライト中はループ再生します。ここで再生されるパターンは、以前 1 小節目に書き込まれていたものです。
5. ⑮ [PATTERN GROUP] ボタンと⑱ステップ［1］～［16］ボタンで 1 小節目に入力するパターンを選びます。
   パターンを選ぶときに、2 つのステップ・ボタンを同時に押すことで、複数のパターンを選ぶことができます。
6. ⑯ [TAP] ボタンを押します。
   パターンが入力され、2 小節目に進みます。
7. 手順 5 ～ 6 を繰り返して、最終小節の 1 つ前まで入力します。
8. 最終小節のパターンを選びます。
9. ⑭ [PATTERN CLEAR]（D.C.）ボタンを押してから、⑯ [TAP]（D.S.）ボタンを押します。
   D.C.（ダ・カーポ）が入力されます。
10. ⑬ [RUN/STOP] ボタンを押して、トラック・ライトを終了します。

トラックの修正

誤って入力した場合は、以下の手順で修正してください。

1. 6 [MODE] つまみを、「TRACK WRITE」にセットします。
2. 「小節番号を呼び出す」の手順で、小節番号を呼び出します。
3. ⑬ [RUN/STOP] ボタンを押します。
4. ⑮ [PATTERN GROUP] ボタンと⑱ステップ［1］～［16］ボタンで、パターンを選び直します。

D.C.（ダ・カーポ）の入力

⑭ [PATTERN CLEAR]（D.C.）ボタンを押すと、現在の小節に D.C.（ダ・カーポ）を入力できます。

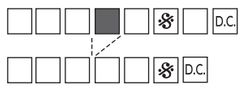
𝄋（セーニョ）の入力

⑮ [PATTERN GROUP]（𝄋）ボタンを押すと、現在の小節に𝄋（セーニョ）を入力できます。

5. ⑯ [TAP]（WRITE/NEXT）ボタンを押します。
6. ⑬ [RUN/STOP] ボタンを押します。

デリート

トラック内のパターンを 1 小節削除します。



1. 6 [MODE] つまみを、「TRACK WRITE」にします。
2. 「小節番号を呼び出す」の手順で、削除小節に移動します。
3. ⑬ [RUN/STOP] ボタンを押して再生します。
4. ⑲ [FUNCTION] ボタンを押しながら⑱ステップ［15］（DEL）ボタンを押します。

インサート

トラックにパターンを挿入します。

1. 6 [MODE] つまみを、「TRACK WRITE」にします。
2. 「小節番号を呼び出す」の手順で、挿入したい小節に移動します。
   例：4 小節を選ぶと、3 小節と 4 小節の間に挿入されます。
3. ⑲ [FUNCTION] ボタンを押しながら⑱ステップ［16］（INS）ボタンを押します。
4. ⑬ [RUN/STOP] ボタンを押します。
5. ⑮ [PATTERN GROUP] ボタンと⑱ステップ［1］～［16］ボタンで、挿入するパターンを選びます。
6. ⑯ [TAP]（WRITE/NEXT）ボタンを押します。
7. ⑬ [RUN/STOP] ボタンを押します。

ステップ・ループ・モード

1. 9 [STEP LOOP] ボタンを押して、ステップ・ループ・モードに切り替えます。
2. ⑱ステップ［1］～［16］ボタン押します。
   ボタンを押している間、指定したステップを繰り返し再生します。

マスター・プロバビリティー

シーケンス全体のプロバビリティーに、値を加算することができます。

➡ **プロバビリティーについては「パターンの書き込み（PATTERN WRITE モード）」をご覧ください。**

※ 個別のプロバビリティーを設定していないと効果がかかりません。

1. 8 [MENU] ボタンを押しながら⑫ [VALUE] つまみを回します。
   マスター・プロバビリティーが設定されます。

メニューの設定

1. 8 [MENU] ボタンを押します。
2. ⑫ [VALUE] つまみで項目を選びます。
3. ⑯ [TAP] ボタンを押します。
   [TAP] ボタンを押すたびに項目選択／値の表示が切り替わります。
4. ⑫ [VALUE] つまみで設定値を変更します。
5. 設定が終わったら8 [MENU] ボタンを押して MENU を抜けます。

項目（パラメーター）	値	説明
MUtE (Mute)	ON：点滅 OFF：点灯	各インストを一時的にミュートします。 インストを［2］～［8］ボタンで選び、オン／オフを切り替えます。 ※ 電源を切ると、MUTE の設定はオフに戻ります
COMP (Comp)	0 ～ 127	BD と SD にかけるコンプレッサーのレベルを調節します。 インストを［2］～［3］ボタンで選びます。
GA In (Gain)	0 ～ 200 MIX IN：0 ～ 127	ゲインを調節します。 インストを［2］～［8］ボタンで選びます。 ［16］ボタンを押すと、MIX IN の設定ができます。
tUnE (Tune)	-128 ～ 127	各インストのチューニング（ピッチ）を調節します。
dECY (Decay)	-128 ～ 127	各インストの余韻の長さを調節します。
PAn (Pan)	L64 ～ C0 ～ r63	各インストのパン（左右の定位）を調節します（L64 ～ C0 ～ R63）。
AtC (Attack)	0 ～ 255	BD のアタックの強さを調節します。
SnPY (Snappy)	0 ～ 255	SD のスナッピー（響き線）の音量を調節します。
Co Ir (Color)	-128 ～ 127	LT と HT のノイズ量を調節します。
H.LnC (HiHat Link)	OFF、On	On にすると、OH と CH（Tune と Level）がリンクします。 リンクすると CH 側の設定は無視されます。
H.tMP (Open HiHat Tempo Sync)	OFF、On	On にすると OH の Decay がテンポと連動して伸長します。
Od (Overdrive Type)	1、2、3、4	オーバードライブのタイプを選びます 1：サチュレーター 2：ビットクラッシャー 3：ディストーション 4：ローパス／ハイパス・フィルター
Od.On (Overdrive On)	OFF、On	各インストのオーバードライブのオン／オフです。 インストを［2］～［8］ボタンで選びます。
d.tYP (Delay Type)	1、2、3、4、5、6	ディレイのタイプを選びます。 1：デジタル・ディレイ 2：パンニング・ディレイ 3：テープ・エコー 4：リバーブ 5：フランジャー 6：サイド・バンド・フィルター
d.Snc (Delay Sync)	OFF、On	ディレイ・タイムをテンポに同期させます
SEnd (Effect Send)	0 ～ 127	各インストのエフェクトのセンド量を調節します。 インストを［2］～［6］ボタンで選びます。 ［16］ボタンを押すと、MIX IN のセンド量の設定ができます。
CH (MIDI チャンネル)	1 ～ 16、OFF	MIDI 送受信チャンネルを設定します。
SYnC (MIDI クロック・ソース)	AUtO	MIDI IN 端子または USB 端子から MIDI クロックが入力されたとき、自動的に MIDI クロックにテンポが同期します。 MIDI IN 端子と USB 端子から同時に MIDI クロックが入力されたときは、USB 端子が優先されます。
	Int	本体で設定したテンポで動作します。外部機器と同期したくないときは、この設定にします。
	MidI	MIDI IN 端子から入力された MIDI クロックにテンポが同期します。
	USb	USB 端子から入力された MIDI クロックにテンポが同期します。
thru (ソフト・スルー)	OFF、On	MIDI IN 端子から入力した情報を、MIDI OUT 端子に出力する（ON：初期値）か、しない（OFF）かを設定します。
tr.AC (トリガー AC)		TRIGGER OUT AC 端子から出るトリガーの、出力のタイミングを設定します。
	AC	アクセントのタイミングでトリガー出力します。
	HEAd	パターンの始めにトリガーを出力します。
	End	パターンの終わりにトリガーを出力します。
	CY	CY のタイミングでトリガー出力します。
	OH	OH のタイミングでトリガー出力します。
	CH	CH のタイミングでトリガー出力します。
tr.In (トリガー・イン)		TRIGGER IN 端子へのトリガー入力に対する動作を設定します。
	CLC	トリガー入力を、TR-06 のシーケンサーのクロック信号として使います。
	Strt	トリガー入力で、TR-06 のシーケンサーを再生／停止します。
	HEAd	トリガー入力で、TR-06 のシーケンサーの再生位置を先頭に戻します。
	rnd	トリガー入力で、選択中のインスト・ノートをランダマイズします。 生成されたパターンは自動で書き込みされません。 ［MENU］ボタンを押しながら［TAP］ボタンを長押しして書き込みます。
	SFt.r	トリガー入力で、選択中のインストのノートを右方向にシフトします。 生成されたパターンは自動で書き込みされません。 ［MENU］ボタンを押しながら［TAP］ボタンを長押しして書き込みます。
	SFt.L	トリガー入力で、選択中のインストのノートを左方向にシフトします。 生成されたパターンは自動で書き込みされません。 ［MENU］ボタンを押しながら［TAP］ボタンを長押しして書き込みます。
A.OFF (オート・オフ)	OFF	自動的に電源が切れません。
	30（分）	30 分経つと自動で電源が切れます。 ※ USB 接続時はオート・オフしません。
dEMO (LED デモ)	OFF、1、3、10（分）	LED デモに入るまでの時間を設定します。
t.PrM (トラック・パラメーター)	AUtO、OFF	トラック選択時にテンポを自動で呼び出します。
LvL.C (レベル・カーブ)	nrM、SPL	［LEVEL］つまみのカーブを設定します。 設定後に［LEVEL］つまみを動かすと、レベル・カーブの設定が反映されます。
OUt (パラ・アウト)	右チャンネル：点滅 左チャンネル：点灯	OUTPUT 端子（ステレオ・ミニ）の出力を左右チャンネルに分けて、設定したサウンドをパラ・アウトします。 設定時に［2］～［8］ボタンを点滅させたサウンドを右チャンネルから、点灯させたサウンドを左チャンネルからパラ・アウトします。 ※ ステレオで出力するときは、すべてのボタンを点灯させてください。（初期値）

バッテリー動作固定モード

USB 端子に接続しても、バス電源に切り替わらないモードです。本機は電池を入れていても、USB 端子に接続するとバス電源に切り替わりますが、バッテリー動作固定モードにすると、電源供給能力のない USB 端子に接続しても、電池で動作させることができます。

1. ⑱ステップ［9］ボタンを押しながら電源を入れます。

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

TR-06 を、工場出荷時の状態に戻します。

1. ⑱ステップ［2］ボタンを押しながら、電源を入れます。
   ［TEMPO］ボタンが点滅します。
   ファクトリー・リセットをキャンセルするときは、電源を切ります。
2. ⑩ [TEMPO] ボタンを押して、ファクトリー・リセットを実行します。
3. すべてのボタンが点滅したら、TR-06 の電源を入れ直します。

主な仕様

電源	ニッケル水素電池（単 3 形）×4、アルカリ電池（単 3 形）×4、USB バス電源
消費電流	500mA（USB バス電源）
外形寸法	308（幅）×130（奥行）×52（高さ）mm
質量	1.2kg（電池、プティーク・ドックを含む）
付属品	プティーク・ドック：DK-01、取扱説明書、DK-01 取扱説明書、安全上のご注意チラシ、保証書、ローランド ユーザー登録カード、アルカリ電池（単 3 形）×4

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

知的財産権について

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- Roland、Drumatix、Computer Controlled は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。